

多くなり、ますますからこのよ
生モミはあらかじめ風の
予備乾燥してから火力を
てく下さい。

○刈干し等で十分乾燥し、
ミを悪天候あるいは朝夕
火力を用いず、風のみの
乾燥しますと逆にモミが
を吸湿して生モミ同様に
ますので、このような理
は最初から火力乾燥で
さい。熱風温風は何れの
でも35度以上あげてはな
せん。運転時間は午前
午後4時までが最適
○乾燥ムラがおこらな
に手型式では厚さ40cm
平均してモミを入れる

○乾燥の途中で運転を止
る場合、又乾燥終了後
温度の高いうちに急に乾
空にあてますと吸湿
ので、ムシロ等で覆つ
乾燥してから所定の場
納してください。

